

# IETC

国連環境計画  
国際環境技術センター

*International  
Environmental  
Technology  
Centre*



UNEP

United Nations Environment Programme

# 新しい環境技術で、よりよ

国際環境技術センター (IETC) は、国連環境計画 (UNEP) 技術・産業・経済局 (DTIE) の機関として、主に開発途上国などにおける環境問題の改善によって、地球全体の未来に貢献できるよう、環境に適正な技術 (EST) の普及促進に取り組んでいます。

## IETC 設立の背景

1991年5月、UNEPはそれまでの活動をふまえ、持続可能な環境管理への取り組みをさらに強化するために、国際環境技術センター (IETC) の設立を決定。

翌1992年、日本にセンターが設けられることになり、1994年より本格的に活動を開始しました。

## IETC の活動分野

### 廃棄物管理

**限**りある地球資源の浪費を防ぎ、持続可能な生産と消費を実現するために、とくに重要とされるのが、3R (リデュース・リユース・リサイクル) による効率的な廃棄物管理です。廃棄物からの有用物質やエネルギー資源回収を含む統合的廃棄物管理は、廃棄物処理による環境負荷を減らし、資源を有効に利用するためのとても効果的な取り組みです。

#### 統合的廃棄物管理 (レソト、スリランカほか)

統合的廃棄物管理により、有用物質やエネルギー資源を回収し、廃棄物の最終処理・投棄量を大幅に減らせることがわかりました。



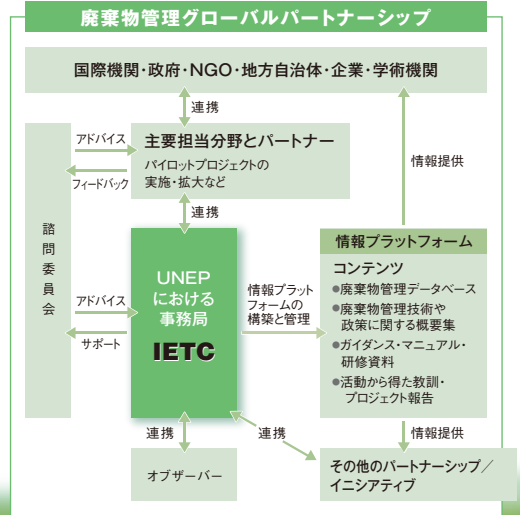
#### その他のプロジェクト

- 各分野に特化した一連の廃棄物処理管理のための電気電子機器廃棄物、廃棄農業バイオマス及びプラスチック廃棄物に関するプロジェクトの実施
- 技術概要集、マニュアルやガイダンス並びに廃棄物管理を多面的に捉え、それに必要な能力開発とそれらの普及啓発活動の実施

#### 廃棄物管理に関するグローバルパートナーシップの構築

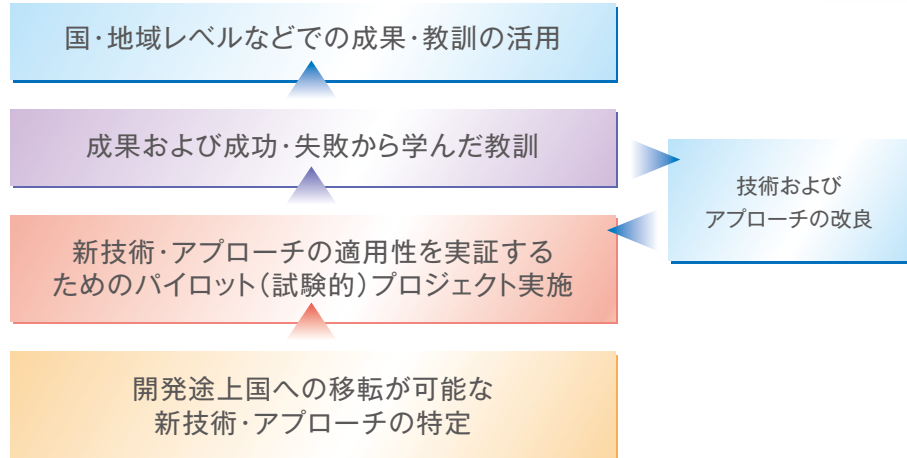
国際機関、政府、地方自治体、企業、学術機関、NGO、それぞれの垣根を越えたオープンなパートナーシップの構築をめざします。

- 廃棄物やそれに伴う環境・社会・経済面における問題を克服するために、国・地方レベルでの総合的な廃棄物管理を実践するための事業計画の策定を支援します。
- こうした様々な手法を取り入れた総合的な事業計画の策定を通じて、廃棄物管理全般の問題点をとらえ、廃棄物分野において現在行われている活動が改善されることをめざします。
- それぞれの機関・団体の方針や施策に関する対話、経験や事例を共有するための活動を促進します。
- 廃棄物管理の支援に活用可能な資金源の拡大、外部資金の調整に貢献します。さらに、廃棄物管理の問題を解決するための資金的および技術的なリソース (資源) をあわせて提供することで、費用の削減にも寄与します。
- 異なる国や地域の都市において、廃棄物関連の情報を、だれもが自由に情報を発信普及・共有・交換できることを目的とした情報プラットフォーム (枠組み) を構築します。



# 未来を拓く。

## IETCの アプローチ



## 水と衛生

**水**をとりまく自然や生活環境の向上をめざして、水と衛生分野におけるESTの導入により、水資源の利用効率の向上や水辺の生態系管理が適切に行われることを促進しています。とくに生態学的な影響が懸念される地域や水不足が深刻な地域で、将来的に効果が期待できるESTを試験的に導入し、問題解決につながるモデルの適用及び政策手段や分析に基づいた目標達成のための政策決定を支援するとともに、より良い取り組みが多くある地域で実践されるよう各国・自治体とのパートナーシップの促進を行っています。

### イラク南部湿原環境管理支援プロジェクト(イラク)

ESTの導入により、地元住民に安全な飲料水が供給されるとともに、水質・湿地管理の実施や衛生事業についてのデータやノウハウをもたらすことができました。



### 中心的な取り組み

- 生態系アプローチに基づく統合的水資源管理の推進
- ファイトテクノロジー(植物生態応用技術)の概念を含む水関連のESTの普及
- 地域コミュニティレベルの環境に適正な水と排水の設備の普及
- 水と衛生に関する技術や政策に関する出版物「試験的プロジェクトから大型プロジェクトへの主流化に向けての教訓」や「都市、家庭での効果的な水利用のための環境適正技術」の作成とESTを応用し利用するモデリング・ソフトウェアの開発

### 「ウォーターフットプリント」に関するプロジェクト

「資源利用の効率性」および「持続可能な消費と生産」の分野において、IETCは、公共ならびに民間の機関や組織を強化するための「技術評価」・「技術政策」および「環境に適正な技術」の向上に関わる事業に携わっています。

この事業の一つである「ウォーターフットプリント」に関するプロジェクトは、UNEP/DTIEの「持続可能な消費と生産部」と「ファイナンス・イニシアチブ」という2つの部局と共同で実施されています。このプロジェクトは、水より効率的な利用や水質の改善のさらなる必要性に対して取り組むもので、「ウォーターフットプリント会計」と「水の中和化」という2つの新たな概念を、主要な産業部門ならびに水ストレスの大きい地域において適用しようとするものです。プロジェクトを通じて、地球規模の水不足や水質汚濁の問題が解決へと向かうよう、IETCでは、水ストレスの特に大きい地域において、公的機関によって「ウォーターフットプリント」や「水の中和化」に関する政策が実現されるための支援を実施しています。

本プロジェクトの中心概念である「ウォーターフットプリント」とは、商品やサービスの提供という、生産から消費に至る流れの中で、直接・間接的な水の利用量を数量的に評価する方法です。

また、もう一つの概念である「水の中和化」とは、商品・サービス・消費者・企業・その他の機関を個々の単位としてとらえた上で、それぞれが「ウォーターフットプリント」による外部環境への負の影響を削減したり、相殺したりすることを表した言葉です。

## 組 織

国際連合(UN) <http://www.un.org/>

国連環境計画(UNEP) <http://www.unep.org/>

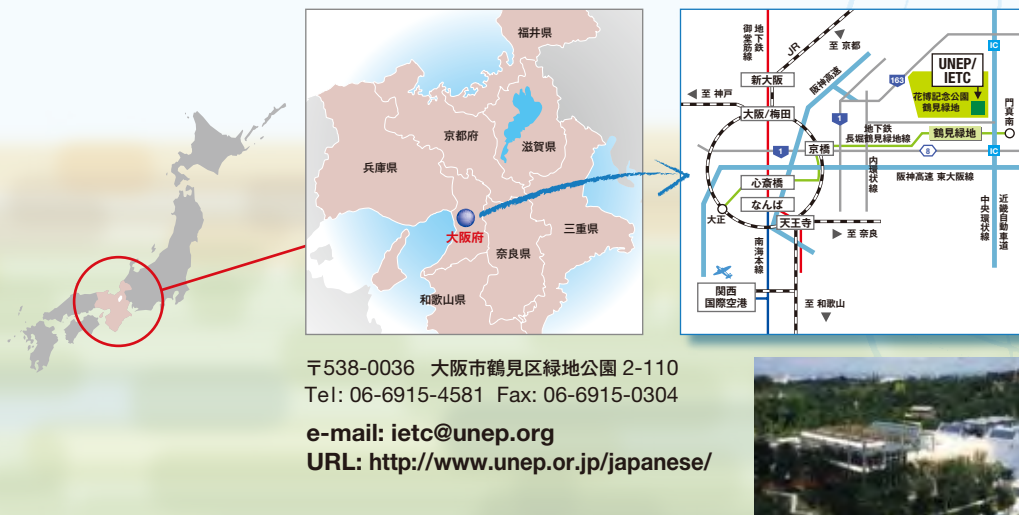
国連環境計画(UNEP)は、世界的な環境問題の取り組みにおいて中心的な役割を担う国連機関です。UNEP本部はケニアのナイロビにあり、環境に関する様々な活動を調整し、環境問題についての国際協力を推進していくことを目的としています。

技術・産業・経済局(DTIE) <http://www.unep.fr/en/>

UNEPに所属する局のひとつであり、政策決定者が、人と環境に配慮した政策やビジネスモデル、取り組みなどを策定・実施することを支援しています。

国際環境技術センター(IETC)

IETCは、大阪を拠点として活動しています。



## 支 援 組 織



公益財団法人 地球環境センター (GEC)

GECは、IETCが行なう都市環境管理のための活動を支援するとともに、開発途上国と日本とのパートナーシップを推進することによって地球環境の保全をめざしています。

URL: <http://gec.jp/jp/>

## 大 阪 市 に よ る I E T C へ の 協 力

環境先進都市をめざす大阪市は、地球環境センターを通じて、1994年のIETC設立当初からその事業・活動を支援しています。2011年3月に策定された「大阪市環境基本計画」でも、IETCへの支援ならびに開発途上国における環境問題解決への協力が盛り込まれています。2011年4月にIETCの事務所が大阪に統合されたことで、今後よりいっそう、IETCと大阪市および地球環境センターが開発途上国における環境問題の解決に向け、協力・連携していくことが期待されます。



国連環境計画 国際環境技術センター (UNEP/IETC)